骨粗鬆症の治療薬の有効グレード一覧表

(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版より引用)

分類	商品名	一般名	作用機序	骨密度	椎体骨折	非椎体骨折	大腿骨近位部骨折
カルシウム製剤	アスパラCA錠	L-アスパラギン酸カルシウム	カルシウム補給	B	B	B	C
	リン酸水素カルシウム	リン酸水素カルシウム					
活性型ビタミンD3製剤	アルファロールカプセル	アルファカルシドール	腸管からのカルシウム吸収増加	B	B	B	C
	ワンアルファ錠			B	B	B	C
	ロカルトロール	カルシトリオール		A	A	B	C
	エディロール	エルデカルシトール		A	A	B	C
ビタミンK2製剤	グラケー	メナテトレノン	骨形成促進	B	B	B	C
副甲状腺ホルモン製剤 (PTH)	フォルテオ自己注射	テリパラチド (遺伝子組換え)		A	A	A	C
	テリボン注	テリパラチド酢酸塩	A	A	C	C	
ビスホスホネート製剤	ダイドロネル錠	エチドロン酸	骨吸収抑制	A	B	C	C
	フォサマック錠	アレンドロン酸		A	A	A	A
	アクトネル錠	リセドロン酸		A	A	A	A
	ベネット錠						
	ポノテオ錠	ミノドロン酸		A	A	C	C
	リカルボン錠						
	ボンビバ静注	イバンドロン酸		A	A	B	C
選択的エストロゲン受容体モジュレーター (SERM)	エビスタ錠	ラロキシフェン		A	A	B	C
	ビビアント錠	バゼドキシフェン		A	A	B	C
イプリフラボン製剤	オステン錠	イプリフラボン		C	C	C	C
カルシトニン製剤	エルシトニン注	エルカトニン		B	B	C	C
	カルシトラン注	サケカルシトニン		B	B	C	C
エストロゲン製剤	ジョリナ錠	エストラジオール		A	B	B	C
	エストリール錠	エストリオール		C	C	C	C
	プレマリン錠	結合型エストロゲン	A	A	A	A	
抗RANKLモノクローナル抗体薬	プラリア皮下注	デノスマブ	A	A	A	A	

グレードA：強く行うよう勧められる

グレードB：行うよう勧められる

グレードC：行うよう勧められるだけの根拠が明確ではない

* 国内では骨粗鬆症は適応外

FRAX (骨折リスク評価ツール) について - ひとりでできる骨折危険度判定 -

FRAXは、WHOが作成した骨折リスクの評価ツールで、インターネットに公開されている。

>> [FRAXのホームページ](http://www.sheffield.ac.uk/FRAX/index.aspx?lang=jpRAX) http://www.sheffield.ac.uk/FRAX/index.aspx?lang=jpRAX

【FRAXの特徴】

1. 骨密度の測定なしで、10年間の骨折確率を計算することができます。
2. 40歳以上の方を対象にし、75歳以上の女性は、このツールでは計算できません。
3. 骨粗鬆症性骨折 (Major osteoporotic) 15%以上では、薬物療法を検討する必要があります。
4. インターネットでWHOのホームページにアクセスし、12の質問*に答えると、自分自身の10年以内に骨折する確率 (%) が自動的に算出されます。

※12の質問①年齢②性別③体重④身長⑤骨折歴⑥両親の大腿骨骨折歴⑦現在の喫煙⑧糖質コルチコイド⑨関節リウマチ⑩続発性骨粗鬆症⑪アルコール摂取⑫大腿骨頸部骨密度 (任意)